



住民自らの行動に結びつく  
水害・土砂災害ハザード・リスク  
情報共有プロジェクト

# 近畿地方整備局における 水害・土砂災害情報の提供・伝達等の取組

令和元年6月12日

# 近畿管内 大規模減災対策協議会の設置状況

- ・ 近畿管内全域において、大規模災害減災協議会は設立済み。（平成30年7月11日現在）
- ・ 平成27年度以降、協議会において、取組方針の策定、フォローアップや出水対応の振り返り等を実施。

近畿管内で50協議会（国単独9、合同7、府県単独34）設立。

## 国管理河川(16協議会)

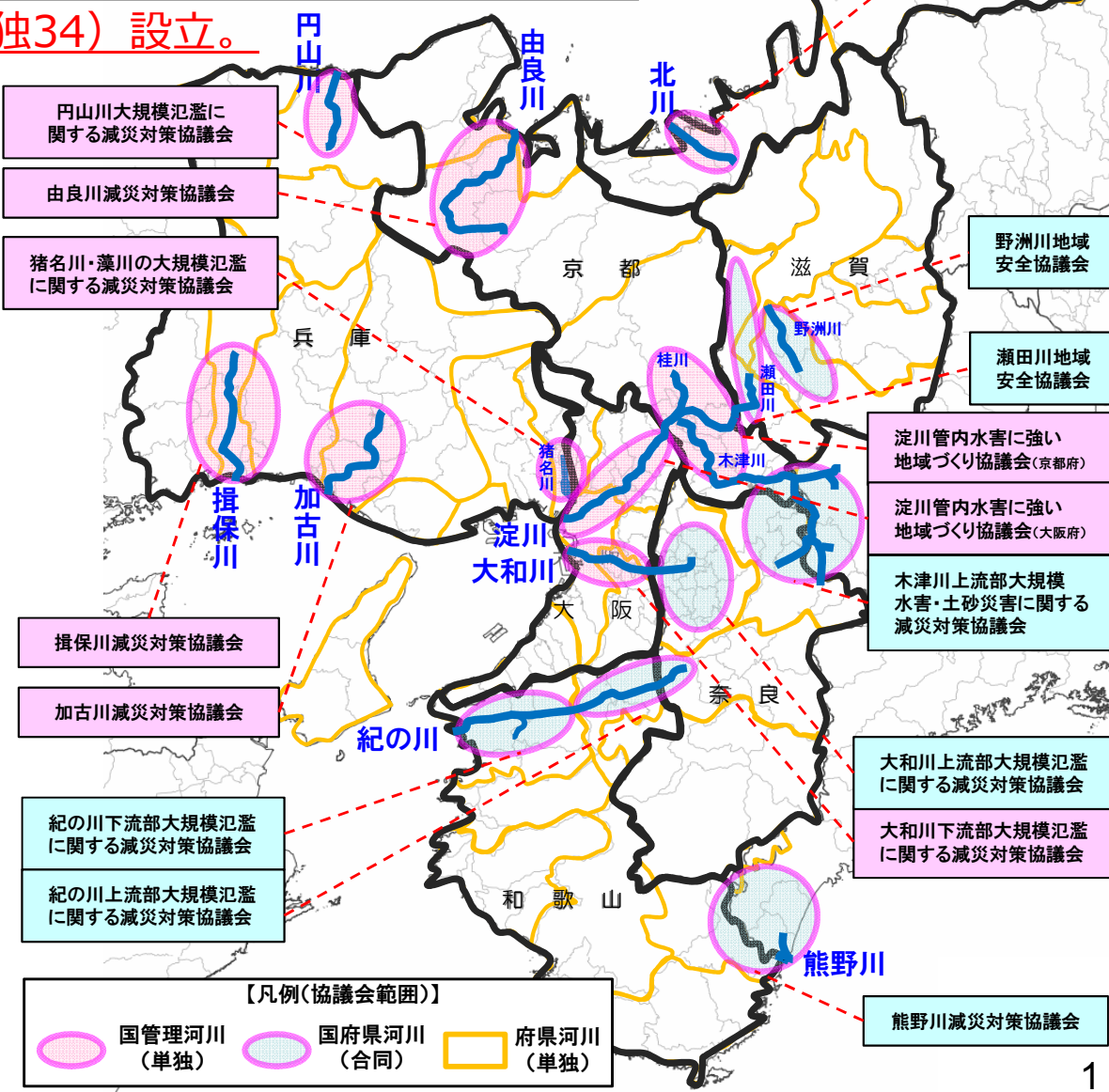
設置済み 16協議会	【国管理河川 10水系】 熊野川、紀の川、大和川、淀川、加古川、揖保川、円山川、由良川、九頭竜川、北川
(9)	(7)

## 合同協議会 7協議会

## 府県管理河川(41協議会)

(7)	(34)
-----	------

府県	法定協議会の数		
	直轄合同	単独	計
福井県	0	2	2
滋賀県	2	4	6
京都府	0	3	3
大阪府	0	8	8
兵庫県	0	11	11
奈良県	2	2	4
和歌山県	3	4	7
計	7	34	41



# 近畿地方整備局管内 減災対策協議会の取組事例

## 「まるごとまちごとハザードマップ」(大阪府門真市)

～想定最大規模の浸水位をみんな線状に明示～

生活空間である“まちなか”に想定される浸水位の看板を設置する「まるごとまちごとハザードマップ」の実施を推進。

今回、従来の看板による点状に想定浸水位を掲示する手法を発展させ、テープにより線状に各戸で明示する試行の取組みを、地域の皆さまや学生防災ボランティアと門真市城垣町の住宅街で実施。

開催日時：平成30年9月23日(日) 10:00～12:00

開催場所：門真市立北巢本小学校 及び 城垣町内周辺

参加者：北巢本校区自治連合会の皆さま他 (約140名)

報道実績：テレビ報道 (3番組にて放映)



実施状況



北巢本小学校の登校風景

## わが家のぼうさいコンテスト2018 (福井県)

福井県内の小学生を対象として、地域の危険な場所や避難場所、家族で相談した約束事などを盛り込んだ防災マップ作成の取組み。平成26年度から始めた本コンテストは今回で5回目。(今回の応募総数は245点)

応募対象：福井県内の小学生

募集期間：平成30年6月22日(金)～平成30年9月6日(木)

審査会：平成30年9月20日(月) 表彰式：平成30年10月8日(祝)

主催：ふくいの水防災を考える会

(国土交通省近畿地方整備局、福井地方気象台、福井県、福井市、鯖江市、あわら市、小浜市、坂井市、若狭町、池田町)

共催：NHK福井放送局、福井新聞社

後援：福井県教育委員会



受賞作品パネル展



表彰式の様子

最優秀賞作品

# 近畿地方整備局管内 減災対策協議会の取組事例

## 小学校での水防災授業（滋賀県栗東市）

小学校と連携し、水防災に関する授業の指導計画作成を実施。授業や野洲川河川敷での水防災学習をおこなった5年生児童が、大雨に備えた行動や対処方法など、授業で学んだことについて自ら考え、その内容を発表。

6年生では、先生から過去の災害を学び大雨災害に備えるための授業と国交省職員から洪水を防ぐための対策についての説明。

開催日時：平成30年12月3日（月）10：45～14：20  
 開催場所：滋賀県栗東市立葉山小学校  
 参加者：葉山小学校5年生児童約70名、6年生児童約35名

## マイ・タイムライン検討会（福井県）

マイ・タイムライン検討会を舞屋町公民館にて開催し、参加者47名でマイ・タイムラインの検討・作成を実施。

＜参加者のコメント＞マイ・タイムラインは重要だとのことが分かり、普段から防災に関して準備が必要との再確認ができた。

日時：平成30年4月22日  
 場所：舞屋町公民館  
 主催：ドラゴンリバー交流会  
 後援：近畿地方整備局 福井河川国道事務所  
 協力：福井県防災士会  
 参加者：47名（自治会31名、関係機関等16名）



# 近畿地方におけるメディア連携協議会の設置について

- 令和元年度、近畿地方メディア連携協議会を設置し、近畿として取組の方向性を検討する。
- メディア連携協議会（概ね府県単位）は、将来的には方向性の実施に向けて設置することを念頭に置き、当面は各協議会への参加・出席を呼びかけていく。
- 構成メンバーは「国・府県・メディア」を基本とし、ハザード・リスク情報共有プロジェクト参加団体のメディアの他、協議会・事務所において関わりがあるメディアも対象とする。

## 住民自らの行動に結びつく水害・土砂災害 ハザード・リスク情報共有プロジェクト

### ○プロジェクト参加団体

- <マスメディア>
  - 日本放送協会(NHK)、一般社団法人日本民間放送連盟
  - 一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟
  - NPO法人気象キャスターネットワーク
  - エフエム東京
  - 全国地方新聞社連合会
  - 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(VICS)
- <ネットメディア>
  - LINE株式会社、Twitter Japan株式会社
  - グーグル合同会社、ヤフー株式会社
  - NTTドコモ株式会社、KDDI株式会社
  - ソフトバンク株式会社
- <行政関連団体>
  - 一般財団法人マルチメディア振興センター(Lアラート)
- <市町村関係者>
  - 新潟県見附市
- <地域の防災活動を支援する団体>
  - 常総市防災士連絡協議会
- <行政>
  - 国土交通省水管理・国土保全局、道路局
  - 気象庁

情報共有

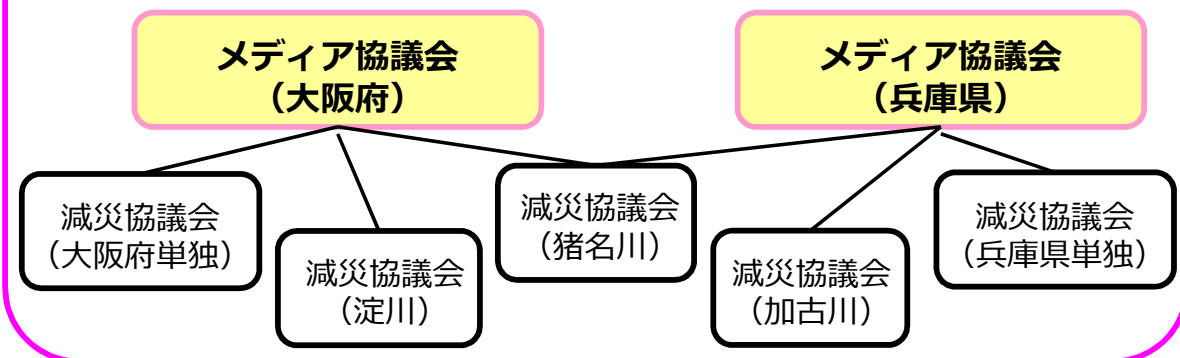
## 近畿地方メディア連携協議会

- 【取組内容】
- ・行政とメディアそれぞれの水害・土砂災害情報の提供・伝達に関する取組状況の共有
  - ・災害時における住民への効果的な情報伝達のための情報共有、連携方策の調整
  - ・平時からの住民等への周知・啓発・訓練等による防災力強化に関する連携方策の調整
  - ・災害時における相互の連絡窓口、問い合わせ窓口の調整
  - ・本省で開催する全体会議の実施状況等に関する情報共有
- など

## 近畿地方メディア連携協議会

情報共有

### 概ね府県単位のメディア連携協議会 ※イメージ



住民自らの行動に結びつく水害・土砂災害  
ハザード・リスク情報共有プロジェクト  
近畿地方メディア連携協議会における取組



住民自らの行動に結びつく  
水害・土砂災害ハザード・リスク  
情報共有プロジェクト

⑤災害情報(水害・土砂災害)用語・表現改善点検会議の実施

A: 災害情報単純化プロジェクト  
 ~災害情報の一元化・単純化による分かりやすさの追求~

水害・土砂災害関連の記者発表内容や情報提供サイト等について、内容や用語が分かりやすいか、また、放送で使いやすいか等の観点から情報発信者である行政関係者と情報伝達者である気象キャスター等が連携して定期的に点検を行い、結果を踏まえて用語や表現内容の改善を図る。

⑫天気予報コーナー等での地域における災害情報の平常時からの積極的解説

B: 災害情報我がことプロジェクト  
 ~災害情報のローカライズの促進と個人カスタマイズ化の実現~

行政機関と気象キャスターとの平常時からの連携を強化し、梅雨や台風シーズン期の平時の天気予報や気象情報の放送時に、気象キャスターがその地域に根ざしたハザード情報、リスク情報、水害・土砂災害情報等、河川の特徴や観測所の見方等を解説する。



今後の予定

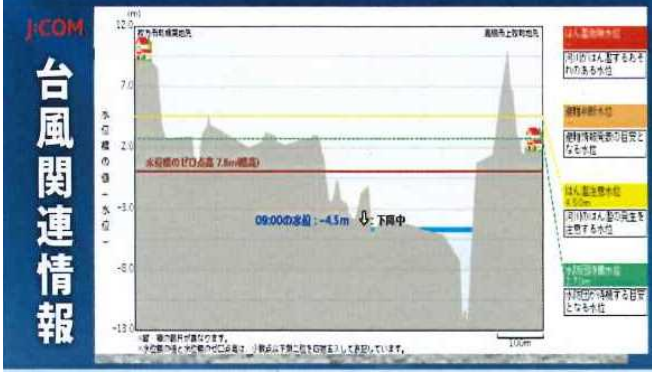
○気象庁大阪管区気象台と連携し、各報道機関やNPO気象キャスターネットワーク、日本気象協会などを対象に、水害・土砂災害情報、地域の災害情報などに関する勉強会を開催。(7月予定)

○勉強会では、特に、用語や表現内容の点検、情報の収集方法(ハザードマップ、河川水位、ダム等の施設状況)、ダム等の施設運用に関する理解について説明。

○8月以降、気象キャスター等による解説放送が随時実施できるように体制構築・準備。(協力依頼事項)

# ⑧地域防災コラボチャンネルの普及促進

ケーブルテレビ事業者が有する地域密着性というメディア特性を活かして、コミュニティFM等のラジオ放送からの音声放送や国土交通省の河川監視カメラ映像とのコラボレーション放送により、より身近な地域の防災情報を住民に届け、的確な避難行動につなげる。



河川監視カメラ映像等を活用したテレビ放送イメージ

整備局	該当事務所	ケーブルテレビ事業者
北海道	帯広開発開発建設部	株式会社帯広シティーケーブル
東北	秋田河川国道事務所	秋田ケーブルテレビ株式会社
関東	京浜河川事務所	イツツ・コミュニケーションズ株式会社
	利根川上流河川事務所 下館河川事務所	ケーブルテレビ株式会社
北陸	千曲川河川事務所	株式会社インフォメーション・ネットワーク・コミュニティ
	高田河川国道事務所	上越ケーブルビジョン株式会社
中部	木曽川上流河川事務所	シーシーエヌ株式会社
	豊橋河川事務所	株式会社キャッチネットワーク
近畿	猪名川河川事務所 淀川河川事務所	株式会社ベイ・コミュニケーションズ 株式会社ジュビターテレコム (近畿整備局エリア内)
	中国	太田川河川事務所
四国	日野川河川事務所	株式会社中海テレビ放送
	野村ダム管理所 大洲河川国道事務所、 山鳥坂ダム工事事務所	西予CATV株式会社 株式会社ケーブルネットワーク西瀬戸
九州	延岡河川国道事務所	株式会社ケーブルメディアワイワイ
	武雄河川事務所	株式会社ケーブルワン

地域防災コラボチャンネル  
参加事業者

**今後の予定**  
 ○5月21日 国交省と日本ケーブルテレビ連盟間で河川情報等の提供に関する協定締結  
 ○7月より、淀川、猪名川よりCATV(2局)において、災害時に水位、カメラ映像を放送予定。

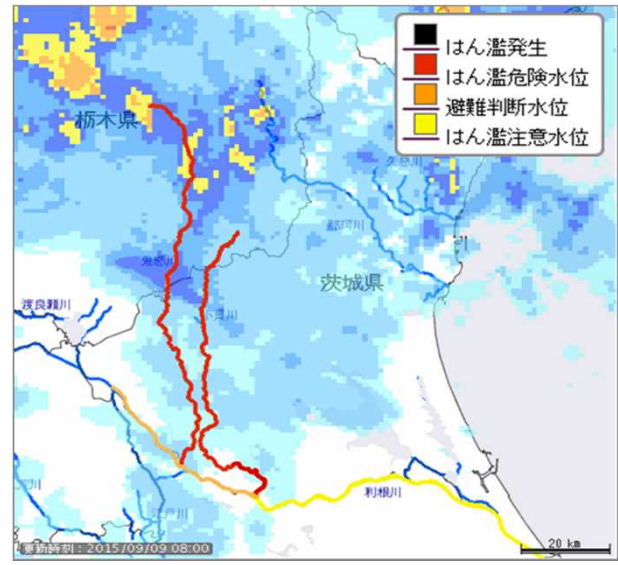


# ⑨ 水害リスクラインによる地先毎の危険度情報の提供

地域のリスク情報を充実させるものとして、上流から下流まで連続して洪水危険度を把握し、水位の実況値や予測値を分かりやすく表示する「水害リスクライン」により地先毎の危険度情報を提供する。

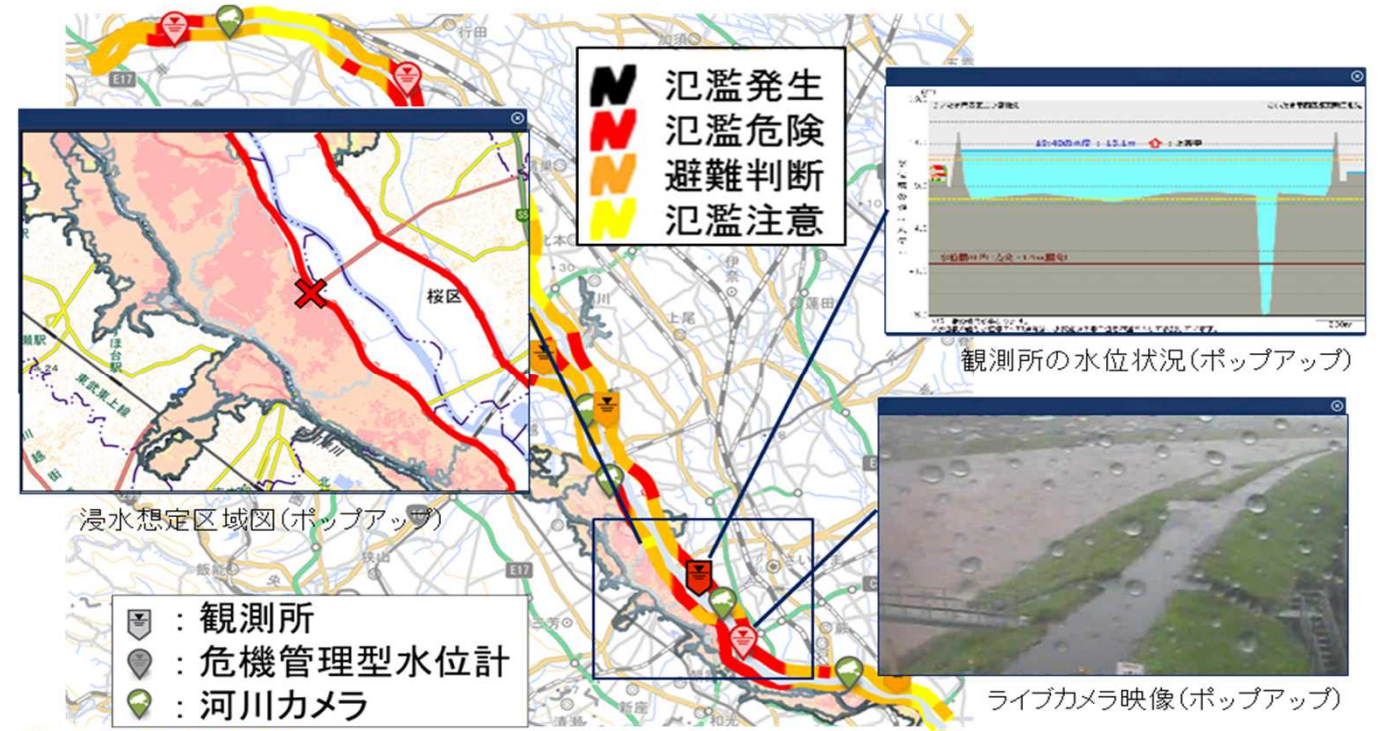
## 現行の洪水予報・危険度の表示

一連の区間の中で最も危険な場所にあわせて発令されているために、場所によっては、身近な地点の危険度や住民との切迫感とのずれが発生。



## 水害リスクラインを活用した洪水予報・危険度の表示

河川の区間毎や氾濫ブロック毎といったきめ細かな洪水情報等を実施するとともに、水位情報、カメラ画像、浸水想定区域などの情報との一元化



**今後の予定**

- 6月より、近畿では由良川水系において、自治体向けに暫定運用開始。
- 8月より、由良川水系の水位の実況値について、住民向けに配信開始予定。順次、他水系も配信予定。(年度内予定)

## 洪水予報の充実

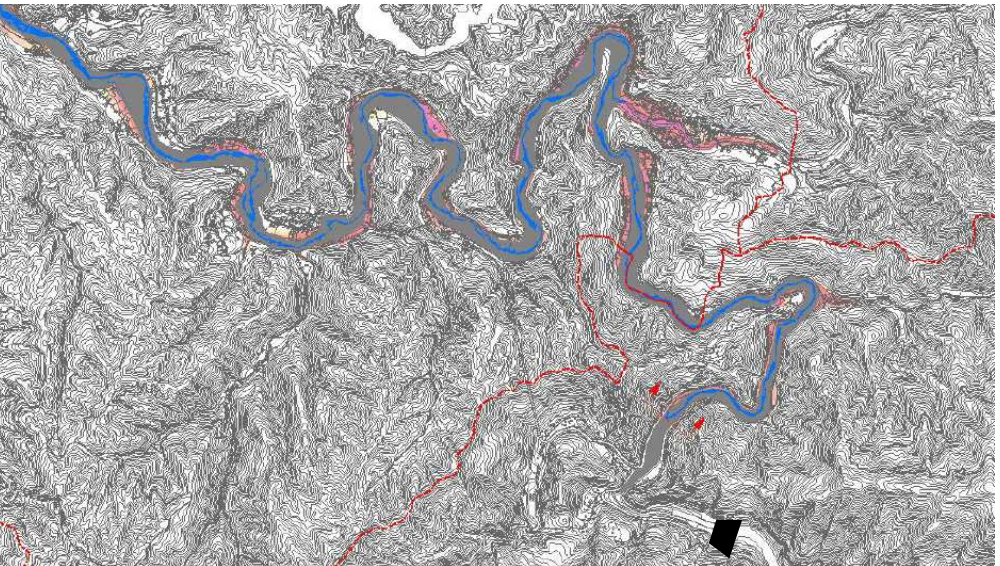
これまでの3時間先の水位予測に加え、最高水位やその時間等の情報も提供するなど洪水予報の内容を充実

**洪水の危険度、切迫性をわかりやすく提供することで、住民の避難行動が円滑化**

# ⑩⑪ダム下流部のリスク情報共有、ダム状況の情報提供

## ⑩ダム下流部のリスク情報の共有

地域のリスク情報を充実させるものとして、ダム下流部において、想定最大規模降雨により当該河川が氾濫した場合の浸水想定図の作成・公表等を通じ、住民等に対して平常時からリスク情報を提供し、洪水時における住民等の円滑かつ迅速な避難の確保等を図る。



大滝ダム下流の浸水想定区域図

## ⑪ダムの状況に関する分かりやすい情報提供

ダム放流量や貯水池への流入量等の情報に加え、貯水位の状況、ダム下流河川の状況、カメラ映像等の情報をテレビ等のメディアを通じて住民に提供する。

**Before** (2018年06月13日 18時 12分) **ダム諸量表 (正時) 1/2** 観測時刻: 2018年 06月 13日 18時 00分

真名川ダム		真名川体系	
ダム種別	流 域 面 積 = 279.7 km <sup>2</sup>	常時満水位 = 965.00 m	計画洪水流量 = 2700.00 m <sup>3</sup> /s
貯水容量	総貯水容量 = 1140000 x10 <sup>3</sup> m <sup>3</sup>	第一期貯水位 = 948.00 m	計画最大放流量 = 500.00 m <sup>3</sup> /s
有効貯水容量	有効貯水容量 = 660000 x10 <sup>3</sup> m <sup>3</sup>	第二期貯水位 = 937.00 m	洪水流量 = 400.00 m <sup>3</sup> /s
サーチャージ水位	サーチャージ水位 = 965.00 m	最低水位 = 931.00 m	氾濫最大貯水量 = 15.00 m <sup>3</sup> /s

月/日 時:分	貯水位 (m)	貯水量 (x10 <sup>3</sup> m <sup>3</sup> )	ダム放流量 (m <sup>3</sup> /s)	発電貯水量 (m <sup>3</sup> /s)	合計放流量 (m <sup>3</sup> /s)	流入量 (m <sup>3</sup> /s)	揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	注水量 (m <sup>3</sup> /s)	流域流出量 (m <sup>3</sup> /s)	流域平均雨量 (mm)	流域平均累加雨量 (mm)
06/12 16:00	369.49	36657	7.47	12.98	20.45	6.97			14.05	0.4	9.5
17:00	369.47	36620	2.65	13.05	15.73	3.95			15.85	0.5	10.0
18:00	369.45	36584	2.65	13.09	15.74	3.95			15.85	0.5	10.5
19:00	369.43	36548	2.65								
20:00	369.41	36511	2.65								
21:00	369.39	36475	2.65								
22:00	369.37	36439	2.65								
23:00	369.35	36402	2.65								
06/13 00:00	369.33	36366	2.65								
01:00	369.31	36329	2.65								
02:00	369.29	36293	2.65								
03:00	369.27	36257	2.65								
04:00	369.25	36220	2.65								
05:00	369.23	36184	2.64								
06:00	369.21	36148	2.64								
07:00	369.19	36111	2.64								
08:00	369.17	36075	2.64								
09:00	369.15	36039	2.64								
10:00	369.12	35994	2.64								
11:00	369.10	35947	2.64								
12:00	369.08	35911	2.64								
13:00	369.06	35875	2.64								
14:00	369.04	35839	2.64								
15:00	369.02	35802	2.64								
16:00	369.00	35766	2.64								

**After** (2018年12月31日 15時40分) **真名川ダム情報** 放流中 ダムの体制 風水害体制(準備)

貯水位: 369.03 m | 全流入量: 501.31 m<sup>3</sup>/s | 全放流量: 13.21 m<sup>3</sup>/s | 時間雨量: 20.1 mm | 累加雨量: 45.6 mm

真名川ダムの情報ページ(※現在は自治体にのみ配信)

### 今後の予定

- ダム下流浸水想定区域図は、2ダム(天ヶ瀬、大滝)でHP公表済み。年度内に2ダム(九頭竜、真名川)について公表予定。
- 直轄ダムについて、異常洪水時防災操作に入る3時間前、1時間前、操作開始時に、当該ダムに関するNHK地方局にFAX,メールにて情報提供予定。
- 今後、ダムに関する情報を分かりやすく伝えられる情報ページを作成予定。

## ⑯ 河川監視カメラ画像の提供によるリアリティーのある災害情報の積極的な配信

リアリティーのある気象の状況や河川の状況を住民一人一人に伝達するため、河川監視カメラを活用し、通常の文字情報に加え、画像・映像によるリアリティーのある災害情報の積極的な配信を行う。



水系	河川名	カメラ所在地	CCTV名称
由良川水系	由良川	京都府福知山市	猪崎
淀川水系	桂川	京都府京都市	渡月橋上流
	淀川	大阪府枚方市	淀川河川事務所2
	木津川	京都府八幡市	上津屋橋
	猪名川	大阪府池田市	小戸
	名張川	三重県名張市	名張大橋
	野洲川	滋賀県野洲市	野洲川水位流量観測所
	大和川水系	大和川	奈良県大和郡山市
	大和川	大阪府堺市	遠里小野
	円山川水系	円山川	兵庫県豊岡市
加古川水系	加古川	兵庫県小野市	大島
揖保川水系	揖保川	兵庫県宍粟市	山第二
紀の川水系	紀の川	和歌山県和歌山市	湊
新宮川水系	熊野川	和歌山県新宮市	熊野大橋
九頭竜川水系	九頭竜川	福井県福井市	福井市中角付近
北川水系	北川	小浜市高塚	小浜市高塚付近

近畿地方整備局河川部youtubeによる河川監視カメラ画像配信

河川監視カメラ画像配信箇所一覧

### 今後の予定

- 近畿地方整備局河川部のyoutube公式アカウント「国土交通省近畿地方整備局水災害予報センター」を開設予定。
- 当初は16河川×1箇所(5秒更新)で河川監視カメラ画像を配信予定。

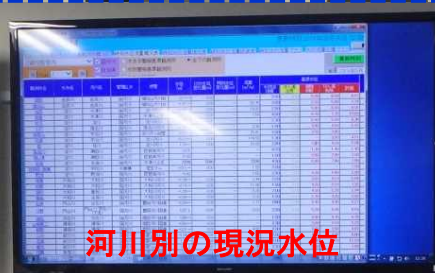
# 18 水害・土砂災害情報を適切に伝えるため専門家による解説を充実

国土交通省職員など普段現場で災害対応に当たっている専門家がリアルタイムの状況をテレビやラジオなどのメディアで解説し、状況の切迫性を直接住民に伝える。

## 近畿地方整備局 専門家による解説デモ状況



国土交通省職員による解説事例  
 (平成28年台風10号(平成28年8月30日 放映))



## 今後の予定

- 今年後の出水期より、国交省職員が専門家として、リアルタイムの河川状況や切迫性を直接住民に伝えるために、NHK大阪放送局と連携して、解説報道を実施。
- 直轄河川において、「避難判断水位を超過し、さらに水位上昇が見込まれる状況において実施予定」。河川の水位予測情報、CCTV画像等を用いて解説。

## ②0 緊急速報メールの重要性の住民への周知

緊急速報メールを受信した際に適切な行動をとることができるよう、緊急速報メールは「生命に関わる緊急性の高い情報」であることをテレビやラジオ等のメディアを通じて周知する。

「生命に関わる緊急性の高い情報」を、  
 特定のエリアの対応端末に配信するもの。

受信した場合は、  
 防災無線、テレビ、ラジオ等を活用し、お住まい  
 の自治体の指示に沿って落ち着いて行動してく  
 ださい。



### 今後の予定

○6月以降、各市の広報誌への掲載や各メディアを通じた周知  
 (協力依頼事項)

### ■ 緊急速報メールイメージ

#### ① 河川氾濫のおそれ

【見本】

(件名)  
 河川氾濫のおそれ

(本文)  
**警戒レベル4相当**

こちらは国土交通省〇〇地方整備局です

内容: 〇〇川の〇〇(〇〇市)付近で水位が  
 上昇し、避難勧告等の目安となる氾濫危険  
 水位に到達しました

行動要請: 防災無線、テレビ等で自治体の  
 情報を確認し、各自安全確保を図るなど適  
 切な防災行動をとってください

本通知は、浸水のおそれのある市町村に配  
 信しており、対象地域周辺でも受信する場  
 合があります

(国土交通省)

#### ②- i 河川氾濫発生 (河川の水が堤防を越えて流れ出ている時)

【見本】

(件名)  
 河川氾濫発生

(本文)  
**警戒レベル5相当**

こちらは国土交通省〇〇地方整備局です

内容: 〇〇川の〇〇〇〇〇〇〇(〇岸、〇  
 側)付近で河川の水が堤防を越えて流れ出  
 ています

行動要請: 防災無線、テレビ等で自治体の  
 情報を確認し、命を守るための適切な防災  
 行動をとってください

本通知は、浸水のおそれのある市町村に配  
 信しており、対象地域周辺でも受信する場  
 合があります

(国土交通省)

### ■ 広報誌への周知イメージ

洪水情報が**緊急速報メール**で発信されます!

国が管理する●●川で、川が氾濫する可能性が高まった時に、その周辺にいる人に氾  
 濫の危険をお知らせする防災気象情報が自動配信されます。

緊急速報メールが届いたら、市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確  
 保を図るなど、適切な防災行動をとって下さい。

洪水情報の緊急速報メール(プッシュ型配信)のイメージ



②③④ 新聞・テレビ等からのネットメディアへの誘導、情報サイトの活用

② 新聞等の紙メディアとネットメディアの連携

台風接近時等のタイミングで、避難行動を解説する記事の掲載と合わせて、二次元コードを新聞紙面に表示して災害情報サイトにリンクさせるなど、紙面からネット情報に導く。

③ テレビ等のブロードキャストメディアからネットメディアへの誘導

災害時に、災害情報サイトへリンクする二次元コードをテレビ画面等に掲載することで、住民が容易にネット上の災害情報ページにアクセスして必要な情報をシームレスに取得できる環境を構築する。

④ 様々なメディアでの行政機関の災害情報サイトの活用

各メディアの災害報道において、行政機関の災害情報サイトを活用してもらうとともに、各メディアのホームページ等においても、災害情報サイトへのリンクを掲載してもらうなど、災害情報の相互活用を促進する。



今後の予定

- 「“気象”×“河川”情報マルチモニタ、ハザードマップポータルサイト、河川の水位情報」等の二次元コードや防災情報に関するリンク集について、解説文と合わせて配布(6月予定)
- 配布以降、台風接近時の避難行動の解説記事、災害時のテレビ画面等に二次元コードを掲載。(協力依頼事項)

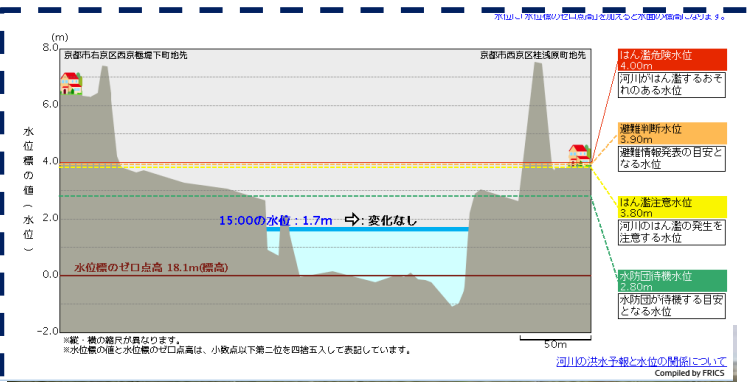
## ②⑧ SNS公式アカウントを通じた情報発信の強化

### ②⑥ 行政機関によるSNS公式アカウントを通じた情報発信の強化

行政機関がTwitter、LINE等のSNS上の公式アカウントを積極的に活用した情報発信を行うことで、信頼性の高い災害情報を利用者にリアルタイムで提供する。また、SNSメディアとの連携により行政職員に対する研修等を実施し、より効果的な公式アカウントの運営を促進する。

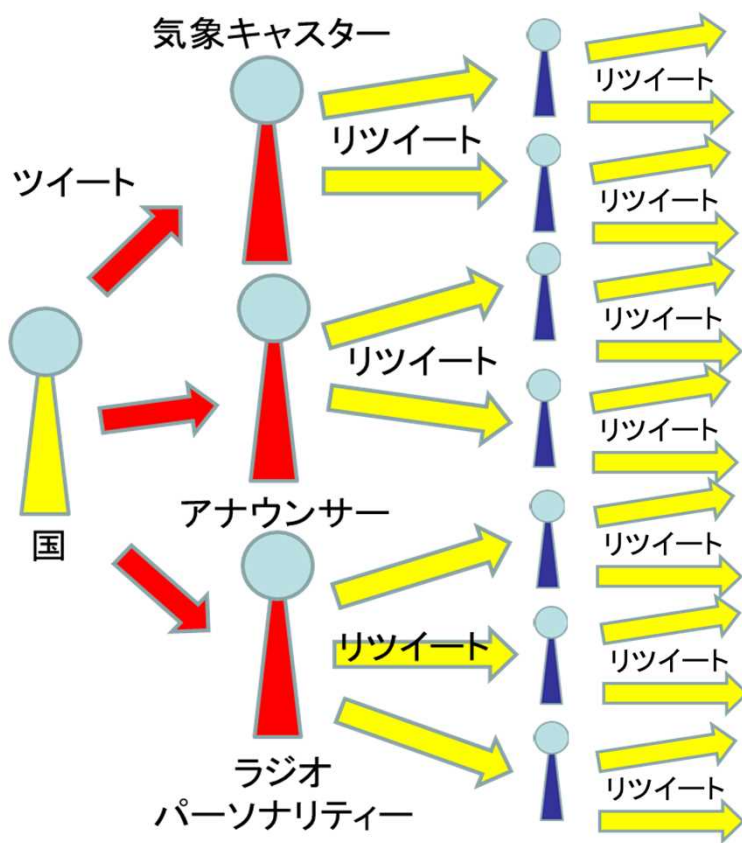
### ②⑧ SNS等での防災情報発信及びリツイート

気象キャスター、ラジオパーソナリティー、アナウンサー等が、公式アカウントのツイートに対して積極的なリツイートを実施することで、発信元が確かな災害情報の拡散を図る。



■〇〇川の〇〇水位観測所の水位が〇時〇分現在で〇〇mに達しました【20〇〇年〇月〇日現在】  
 〇〇水防団は〇時〇分に〇〇地区において水防活動を開始しました。

Twitter配信イメージ例



リツイートで多くのフォロワーに情報が拡散

#### 今後の予定

○6月17日、近畿地方整備局河川部のTwitter公式アカウント「@mlit\_kinki\_riv」を開設予定。

○整備局体制状況、厳しい状況となっている河川状況、ダムの放流状況、被害の発生状況、対応状況等についてツイート。

○関係メディアによる公式アカウントのフォロワー登録および積極的なリツイートにより、信頼性の高い災害情報を利用にリアルタイムに提供。(協力依頼事項)